

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成20年11月29日

事業所番号	2772202012	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	株式会社 オーナーズ	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	グループホーム ジョイフル小路	評価調査日	平成 20 年 11 月 26 日
所在地	大阪市生野区小路東4丁目5番16号 電話 06-6751-1419	評価確定日	平成 20 年 12 月 5 日

【情報提供票より】 (平成20年11月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年10月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数	9人
職員数	常勤 6人	非常勤 1人	常勤換算 8、0人

(2) 建物概要

建物の構造	鉄骨造り 4階建ての 1階部分
-------	--------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	42000円よりその他の経費 (月額 35,000円)			
敷金	無 ()			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 200,000円	償却 有 5年		
	消却 1年10万円	2年15万円	3年17万円 以下略	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,330円			

(4) 利用者の概要 (11月10日現在)

利用者人数	9名	男性	4名	女性	5名
要介護1	3名	要介護2	2名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢 平均	82才	最低	63才	最高	88才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	生野中央病院
---------	--------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

運営者の職員に対する極め細かな配慮で、全員がホーム運営に一体となって精励しており、職員が働く喜びを持って利用者に接している様子が見受けられる。利用者のケアも、チームで個人毎の記録の蓄積が行われ、介護計画作成に活かされている。又、共用室は窓のない空間ながら明るい雰囲気配慮がされており、季節感のある演出も出来ている

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	「尊厳を保つ、その人らしく、生きがいのある安心した暮らし」を理念として、共用室にも大きく表示し、職員一同が日々、再認識をして介護に取り組んでいる。特に、個人毎の記録や経過観察もできる記録作成にセンター方式を取り入れて、改善に努力している。又、緊急時や災害対策については、消防署員の指導を受けて避難訓練を実施している
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	過去2回の外部評価の経験を踏まえて、各項目毎に職員間での反省と改善の話し合いをして作成している。個人毎の記録の取り方についても、試行錯誤をしながら改善を行っているが、今後も引き続きチームワークで取り組む方針で、意欲的に働く喜びを持ってケアに臨む姿が印象的である。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6)
	運営推進会議は、ほぼ2ヶ月毎に開催して来たが、会議内容に精彩を欠いている。その為、区役所担当課、包括センターの方とも相談して、ホームの行事日に同時に、運営推進会議を開催して活性化を図りたいとしている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8)
	ご家族のアンケートの集計結果を見ても、安心して頂いている方は多い。ご家族の来訪時には職員が詳細に近況報告を行っており、写真入りのホームだよりも適宜に発行し送っている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	ホーム開設以来3年となり、自治会にも加入して地域の行事にも参加させてもらっている、近隣の方々との交流はまだ3年ですが、少しずつ溶け込んでいくことに期待したい

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	共用室の壁に「尊厳をもって、その人らしく、生きがいのある安心した暮らし」を理念として掲げ、その下で日々の介護、支援が行われている		
2	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営者の細かい心遣いを受け、管理者、職員は、やる気と喜びを持って勤務している。そして、チームワークで利用者、温かさや気付きの、介護をしている		
2 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	事業所は開設3年目で、自治会に加入し回覧板も利用させてもらっている	○	近隣の住民とはご挨拶程度しか出来ていないが、自治会行事への参加、ホーム行事への招待等、徐々に交流が出来ることを期待したい
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の実施も3回目となり、運営者、管理者、計画作成者と職員で、評価各項目毎に反省、改善の検討を行っている		
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議は、ほぼ2ヶ月毎に開催してきた。最近では検討内容がマンネリ化となってきたので、改善を検討している	○	会議の活性化のために、開催日の変更も含めて改善を期待したい
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区役所、包括支援センターとの連携は出来ている		
4 理念を実践するための体制					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々に合わせた報告をしている	運営推進会議への出席でご意見を伺っている、事業所入口には投書箱が置かれている		
8	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族来訪時に職員が面談をしてご意見や、苦情等を承っている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
--	----	----	--	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		
--	----	----	--	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		
--	----	----	--	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	○	<p>介護関係書類、記録類について、職員の閲覧の確認サインを励行して欲しい。又、内部の管理書類のファイルやその他の資料類の保管状況が良くないので基本に戻って改善して欲しい</p>
--	----	----	---	---	---

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	本人に変化が認められた時には、職員のカンファレンスで対応を実施している。医師、家族との話し合いも行っている		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	適宜、事業所の機能で出来る事は支援している		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	ホームの掛かりつけ医師によって週に1回の往診を実施している		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	掛かりつけ医師が家族に症状、今後の見通しや、延命等を説明し、話し合いの後に合意している。職員も情報を共有している		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	本人の長年の生活歴での誇りを傷つけないよう注意している。ホーム内での職員同士の会話で、氏名はイニシアルとしている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとり、その日の体調などを克明に観察した上で、希望も伺って介護に当たっている		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月毎の行事には希望を伺って献立を決めている。食前、食後の準備や、片付けは出来る方にしてもらっている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		入浴時には体調、希望を聞いた上で、観察をしながら入浴支援を行っている

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		入所時は職員と一緒に始め、その人に合った役割を見出すようにしている
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		近所の散歩、買物に出かけたり、車での希望にも応じている

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		不穏な利用者が一人、入居されており、前面の道路は自動車の通行が多いので、已むを得ず玄関に鍵掛けをしている
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		緊急時の訓練は消防署員の立ち会いで実施している。前回はAEDの使用訓練を実施した

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		摂取量やカロリー計算した食事を楽しんでもらっている。食物形態も個人毎としている
--	----	----	---	--	---

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		共用空間は外部の光はないが、装飾、照明で工夫して明るい雰囲気を出している。その上、季節感のある演出もしている
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		居室には夫々の好みや、馴染みのある道具、家具類で過ごしておられる